

## JAEF REPORT

令和7年1月5日

年4回発行(1,4,7,10月)

(公財)日本自動車教育振興財団 活動報告

## 【目次】

- ◆ 新年のご挨拶
- ◆ 15府県で教材贈呈式、交流促進活動を実施
- ◆ 令和7年度 講師派遣募集開始、自動車技術分野に新メニュー追加

- ◆ 各部会・委員会にて令和6年度上期活動状況を報告
- ◆ 29都道府県(73件)の研修会に講師を派遣
- ◆ 動画学習サイト「早わかり!クルマ塾」に国内調査報告動画を掲載

## 新年のご挨拶

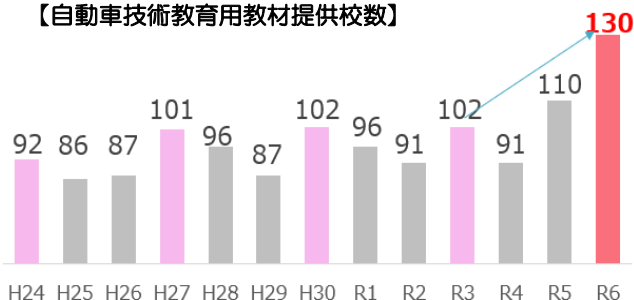
財団運営

新年おめでとうございます。旧年中は弊財団に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

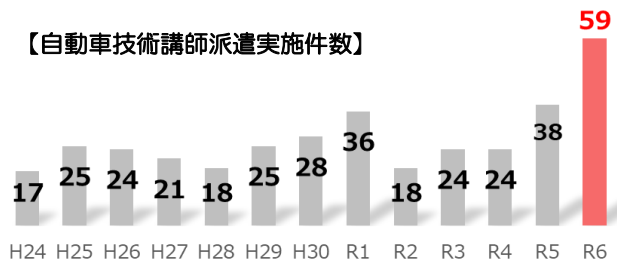
令和7年は「乙(きのと)」「巳(み)」の年にあたります。乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

日本自動車教育振興財団では、令和5年度より、財団の基幹事業である自動車技術教育の抜本的強化を進めてまいりました。そのために、教育関係団体(特に全国工業高等学校長協会、全国自動車教育研究会)や各都道府県の代表校長、教育庁とのコミュニケーション強化に努めました。またコミュニケーションツールとして、提供教材の紹介動画や技術系講師派遣の紹介動画、各種リーフレットを作成し、財団活動に対する理解促進を行ってまいりました。

【自動車技術教育用教材提供校数】



【自動車技術講師派遣実施件数】



この結果、自動車技術教育用教材の提供校、自動車技術講師派遣とも、令和5年度・6年度連続して過去最高の成果を上げることができました(左下グラフ参照)。

また、自動車整備士不足の課題への対応として、令和5年度より、教材贈呈式・意見交換会を自動車販売会社で開催し、サービス工場の見学を取り入れ、自動車整備業務に対する理解促進を図ってまいりました。さらに令和6年度には、自動車整備士に関する高等学校への出前授業について検討を重ね、令和7年度より開始することになりました。

これらの活動が実施できたのは、ひとえに日本自動車販売協会連合会、各自動車販売店協会、各自動車販売会社、日本自動車整備振興会連合会、各自動車整備振興会の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

「自動車技術教育の抜本的強化」の3年目にあたる本年は、「乙巳の年」として更に「発展」を目指し、高校生の自動車に対する関心高揚、自動車整備に対する理解促進に努めていきたいと考えています。そのためにも、教育関係団体の皆様、自動車関係団体・企業の皆様には、何とぞ倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 【サービス工場見学での先生方の感想】

- 「学校での授業環境の方が過酷で、実際の会社の方が労働環境が整っていることを生徒に伝えていきたい。」
- 「父兄の方に、『空調管理にしても安全管理にしても、お父さんお母さんが思っているような職場ではないですよ』という話ができる。」
- 「生徒・保護者がこの整った環境を知らない。生徒・保護者向けに見学会を行うと効果的。」

## INFORMATION

1~3月予定

- 7都道府県の研修会(14件)に講師を派遣 1月~3月
- 各部会・委員会を開催 2月
- 第33回理事会を開催 3月

## ◆ 15府県で教材贈呈式、交流促進活動を実施

財団は、令和6年度の技術教育支援事業の一環として、贈呈対象の15府県にて過去最多となる130校に自動車技術教育用教材を提供することとしている。これにあたり、各自動車教育推進協議会\*（以下、推進協議会）と共催で「自動車技術教育用教材贈呈式」（以下、贈呈式）を開催した。

従来贈呈式と共に、地域に密着した自動車教育を推進していくための情報交換の場として教育懇談会（意見交換会）を行ってきた。今年度も昨年度に引き続き、参加される先生方に自動車整備の職場環境に対する理解を深めていただくことを目的として、一部地域で自動車販売会社にて開催（右表内、赤枠部参照）。贈呈式・教育懇談会に加え、サービス工場・店舗など各施設の見学も実施した。さらに、現職のサービスエンジニア（女性も含む）に教育懇談会に参加いただき意見交換を行い、大いに盛り上がった地域もあった。

各施設を見学された先生からは、

「最新の機器はもちろん詳細な顧客管理により、来店されるお客様に対し高級ホテルのようなサービスが展開されている」（宮城）

「整備は男社会と思っていたが、女性でも十分に働ける環境に変化していることがわかった」（愛知）

「3Kではなく、冷暖房が完備され着用している作業着も格好よく清潔感があり、全くイメージと異なった。処遇も改善されており、今後の進路指導に役立てたい。」（滋賀）

といった感想・意見が寄せられるなど、たいへん好評であった。普段直接目にする機会が少ない、自動車整備の職場環境への適切な理解促進に大いに寄与した。

財団では次年度以降も、当贈呈式・教育懇談会に参加される先生方にとって一層有益な機会となるよう、各地域の自動車教育推進協議会と連携しながら、様々な検討を進めていく予定である。

当贈呈式・教育懇談会の開催、自動車販売会社などでの施設見学にご協力いただいた各関係団体・企業の皆さまに紙面をお借りして深謝申し上げます。

### 【贈呈式の様子】



\* 各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部の5団体（一部の県では中古車販売店協会が参加）を中心に構成。

・・・令和6年10月～12月

技術教育

### 【令和6年度 教材贈呈式 開催実績】

地区	開催日	贈呈式会場	施設見学
岐阜	10/30	岐阜キャスルライン	
愛知	10/31	NTPビジネスプラザ	※
茨城	11/1	茨城日産自動車 本社	○
静岡	11/1	グランディエールブuketウカイ	
三重	11/8	三重日産自動車 本社	○
滋賀	11/11	滋賀トヨタ 本社	○
和歌山	11/12	和歌山県立和歌山工業高等学校	
宮城	11/15	ホンダモビリティ東北 本社	○
奈良	11/21	奈良トヨタ 本社	○
福島	11/22	福自販会館	
岩手	11/25	ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING	
青森	11/26	青森県自動車会議所	
大阪	12/4	リーガロイヤルホテル大阪	
京都	12/12	京都トヨペット 本社	○
兵庫	12/16	ANAクラウンプラザホテル神戸	

※自動車販売会社の研修会場

### 【自動車販売会社 施設見学の様子】



▲茨城日産自動車



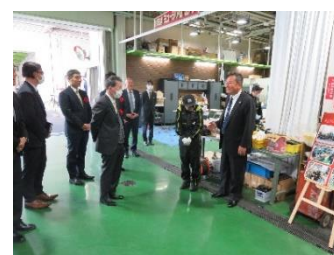
▲三重日産自動車



▲滋賀トヨタ



▲ホンダモビリティ東北



▲奈良トヨタ



▲京都トヨペット

## 令和7年度 講師派遣募集開始、自動車技術分野に新メニュー設定 ……令和6年12月

研修

財団は、令和7年度 講師派遣支援の申込要領を12月20日付で全国の高等学校（約6,000校）にFAXで公募すると共に、ウェブサイトにて申込受付ページを開設した。各校の次年度カリキュラムに盛り込んでいただけるよう、漏れなく告知し、令和6年度を上回る申し込み件数をを目指す。

講師派遣の対象は各地の学校、教育委員会等が開催する研修会。今回「自動車技術教育の抜本的強化」の一環として、日本自動車整備振興会連合会による協力のもと、新規メニュー「自動車整備の基礎」を設定した（右表内、赤枠部参照）。整備技術関連メニューでは、初めて生徒を対象とした“出前授業”の形式を採用。工具の使い方を始めとした基礎技術の習得に加え、整備士への興味関心も高める内容としている。

関係団体・企業の皆様には、引き続きまして専門講師派遣へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 【令和7年度新規設定メニュー 「自動車整備の基礎」】

内容	所要時間	派遣対象
正しい工具の使い方 ・工具の種類や使い方 ・ねじの基礎知識 ・締付トルク体験（ゲーム性を持たせて実施） ・タイヤ脱着、ホイールナット締付体験 ・スキャンツールの機能説明、実演、体験等	90分 ～120分	生徒 (原則 1,2年生)



▲新メニュー「自動車整備の基礎」で使用する  
ネジの適度な締付具合を体得するための解説動画より

### 【令和7年度講師派遣メニュー】

ジャンル	メニュー		
自動車の最新技術	①	実車を用いた 出前授業	トヨタ ハイブリッド車 について
	②		日産 電気自動車 について
	③		ホンダ e+HEVについて
	④		マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立
	⑤		三菱 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて
自動車の整備技術	⑥	各都道府県 整備振興会による 出前授業 (実習中心)	自動車整備の基礎
	⑦	整備振興会 での実習指導	ガソリンエンジンの分解・組立
	⑧		電子制御エンジンの構造と点検・整備
環境技術	⑨	地球温暖化防止と モビリティ技術	カーボンニュートラル社会の 未来に貢献するモビリティの最新情報
交通技術	⑩	交通技術と 社会のあり方	自動運転技術が拓く未来と人との協調
交通安全	⑪	交通安全 対策	ヘルメット着用の重要性
	⑫		夜間の交通安全対策
	⑬		ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全
	⑭	事故への 備え	交通事故のリスクと損害保険の役割
	⑮		自転車事故のリスクと損害保険の役割
	⑯	バイク 実習	二輪車（バイク）の交通安全 ～高校生のためのSafety Riding～

### 【令和6年度 講師派遣の様子】



▲北海道滝川工業高等学校  
(自動車技術)



▲福岡県立春日高等学校  
(交通安全)

## 各部会・委員会にて令和6年度上期活動状況を報告 ……令和6年10月

財団運営

財団は10月に、右表の通り事業ごとの部会や事業委員会、企画委員会を開催した。4事業とも当年度事業計画に沿ってほぼ計画通りに進捗していることが報告され、報告事項は異議なく承認された。

個別には、普及啓発事業では「自動車技術 講師派遣 紹介動画の制作・公開はたいへん効果的」、技術教育支援事業については「（次年度導入を検討中の）整備に関する講師派遣の内容は、生徒にとって効果的な体験になりそうで良い」、研修事業に関しては「講師派遣の未利用地域に関し、要因等分析を行っているか」等の意見や質問があった。

尚、事業委員会、企画委員会では、基本財産の運用状況の詳細を説明。賛助会費の収入が減少する中で、運用益の増加分を技術教育支援の強化に充当していることに対する理解、賛同を得た。

### 【部会・委員会の開催実績】

部会・委員会名	開催日
調査普及部会 (調査研究／普及啓発事業)	10/15 (火)
技術教育部会 (自動車技術教育支援事業)	10/23 (水)
研修部会 (研修事業)	10/24 (木)
事業委員会 (事業総括)	10/29 (火)
企画委員会 (財団運営)	



## 29都道府県の研修会(73件)に講師を派遣

・・・令和6年10月～12月

研修

令和6年度10～12月の講師派遣実績は、開催件数73件（前年同期差 +8件）であった。また参加者は12,972名（同 ▲578名）とやや減少した。

12月までの累計開催件数は346件。1～3月の予定件数を含めると、今年度は合計で360件に達し、前年度を大きく上回り、過去最多に迫る見通しとなっている（これまでの最多件数は、令和元年度の363件）。

10～12月に派遣した全73件の分野別内訳は以下の通り。

分野	件数	対象
1) 自動車技術	27	主に工業系の生徒
2) 交通安全	46	社会科系及び生徒指導担当の先生並びに生徒

尚、研修会メニュー別件数は以下の通り。

### 1) 自動車技術：計27件

（全て生徒を対象とした最新技術メニュー）

受講した生徒からは、「新たな知識を知ることや体験ができ、今まで以上に車に興味を持つことができた」、先生からは、「生徒の学びが深まる良い授業となっている。本校の年中行事の一つとして定着しており、最先端の自動車事情に触れられる期待感がある授業として今後も継続していきたい。次年度も同時期に利用予定。」など、数多くの好意的な評価をいただいた。



▲埼玉県立春日部工業高等学校での講師派遣（自動車技術）

### 2) 交通安全：46件

ヘルメット着用の重要性	12
夜間の交通安全対策	6
ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	21
交通事故のリスクと損害保険の役割	3
自転車事故のリスクと損害保険の役割	3
二輪車（バイク）の交通安全	1

受講した学校の先生からは、

「本校の実情に見合った講話内容で、画像を用いた視覚的な内容が多く、交通事故回避方法が分かりやすく生徒に伝わりました。また、生徒同士で話し合いを行わせるなど、非常にテンポの良い講話でした。」、

「対面形式で生徒の反応を観察しながら、聞きやすい説明と声のトーンも大変良かった。生徒が自分事ととらえることができ、以後十分に気をつけて自転車を乗りたいという意見もあった。学校としてもヘルメットの着用率に苦慮しており、その点についても指摘をしていただき、命の大切さにも訴えていただいた。」

など、講習内容について高い評価が得られた。

また、きめ細かな事前打ち合わせや、学校の状況や環境を踏まえた工夫についても高く評価していただいた。



▲秋田県立能代高等学校・対面での講師派遣（交通安全）

講師派遣にご協力いただいた関係団体・企業の皆様に紙面をお借りして深謝申し上げます。

## 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に国内調査報告動画を掲載

・・・令和6年12月

普及啓発

財団は、この度実施した物流の2024年問題をテーマとした調査の結果を動画に纏め、動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」で公開した。

2024年4月、トラックドライバーの労働環境改善を図るべく、時間外労働の上限を設けるなどの規制がスタート。これにより、物流の停滞や更なるトラックドライバー不足が懸念される中、輸送業者やトラックメーカーがどのような取り組みを行っているか、その現状や今後の課題を深掘。

当調査では、西濃運輸及びいすゞ自動車に取材協力いただいた。



➤「消費者の生活も大きく変える？ 物流の『2024年問題』」  
（12/25公開）